

RESEARCHERS OF YAMANASHI UNV.

山梨大学の研究者たち

ナシダイ Researchers



Vol.13
2026

ご挨拶

山梨大学男女共同参画推進室長
教育学域 教育学系（生活社会教育講座）教授
志村 結美



山梨大学男女共同参画推進室では、文部科学省のサポートを受けて「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」というプロジェクトを進めています。このプロジェクトは、大学で研究に励む先生方や学生の皆さんが、より一層活躍できる環境を作り、研究者を育て、さらには、大学の研究を含めた多様な活動を広く知ってもらうことを目的としています。

今、皆さんが手にしている『ナシダイ Researchers』は、先生や学生の研究活動内容を紹介するだけでなく、「山梨大学の魅力」や「研究者を目指したきっかけ」などについても、できる限り、本人の声でお伝えしたいと考え、作成しました。

また、ここに登場する先生方や学生の皆さんが、研究や勉強に真剣に取り組みつつ、日々の生活を楽しんでいる様子を通して「大学って楽しそう!」「こんなこともできるんだ!」と感じていただければ幸いです。

この冊子を通して、山梨大学をより身近に感じていただくとともに、皆さんの将来の選択肢がさらに広がるきっかけとなることを心より願っています。みなさんの明るい未来を応援しています!

国立大学法人 山梨大学
NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION UNIVERSITY OF YAMANASHI

甲府キャンパス中央西門

Contents

01 男女共同参画推進室長あいさつ

02 Contents

教員紹介

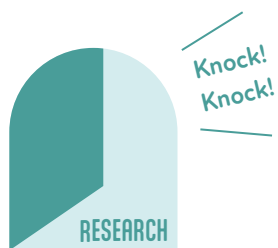
- | | | |
|----|--------|-------------------------|
| 04 | 加藤 千晶 | 教育学域 人間科学系（言語教育講座）准教授 |
| 05 | 笹津 聡子 | 医学域 臨床医学系（産婦人科学）助教 |
| 06 | 原田 裕生 | 工学域 機械工学系（メカトロニクス工学）助教 |
| 07 | 片岡 良太 | 生命環境学域 生命農学系（地域食物科学）准教授 |
| 08 | 古里 咲綺乃 | 高度生殖補助技術センター 特任助教 |

学生紹介

- | | | |
|----|--------|--|
| 10 | 中川 のどか | 大学院 教育学研究科教職大学院の過程 教育実践創成専攻
教科領域実践開発コース 修士課程 1年 |
| 11 | 四方 美穂 | 大学院 医工農学総合教育部（4年博士課程）医学専攻
博士課程 2年 |
| 12 | 山田 真希 | 大学院 医工農学総合教育部 工学専攻
メカトロニクス工学コース 修士課程 1年 |
| 13 | 渡邊 琴弓 | 生命環境学部 環境科学科 4年 |

14 男女共同参画推進室 主な取り組みの紹介





教員紹介



加藤 千晶



笹津 聡子



原田 裕生



片岡 良太



古里 咲綺乃



文学と絵画の 世界観を拡げる

かとう ちあき

加藤 千晶

教育学域 人間科学系

(言語教育講座)

准教授

Background

聖心女子大学文学部外国語外国文学科卒業 >> 同大学院修士課程(文学研究科英文学専攻)修了 >> 慶應義塾大学大学院後期博士課程(文学研究科英米文学専攻)単位取得退学 >> 東海大学、東京外国語大学等で非常勤講師 >> 現職



亡き母お手製の服を着て

研究 内容

Research
Overview

19世紀イギリス文学、特にロマン主義からヴィクトリア朝にかけての唯美主義の系譜に属する詩を専門とし、文学と絵画の両分野で活動したラファエル前派のリーダー、ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティの作品を中心に研究しています。ロセッティは、自作・他作の絵画と対応する詩も書いていることから、文学と絵画の照応関係や、同時代の美術(批評)も視野に入れて研究を進めています。イタリアにルーツをもつ彼は、中世イタリア詩の英訳も手掛けているため、イタリア語を学びつつ翻訳と原文を比較し、中世の伝統の変容を考察しています。

1

研究者になったきっかけ

Why I Became a Researcher

十代の頃から、外国文学や絵画、英語が大好きで、これらに関われる仕事に就けたら…と漠然と感じていました。大学でロセッティの作品に出会い、鮮烈なイメージと美しい音で紡がれた詩、象徴性を帯びた絵画に魅せられ、この画家詩人を伝統の中に据え直したいと願いました。恩師の励ましも大きな後押しとなりました。小学校から高校まで通った箱根の学校では、自然の中で関心事にじっくりと取り組み、ぶれない軸をもつ心を育みました。



こよなく愛する自宅の梅の花。グラデーションの花びらがラヴリーです。



登山鉄道に乗って登校していました。箱根に行くとき少女時代が蘇ります。



故郷の神奈川県大磯町の初日の出。気持ち引き締まります。

2

おすすめの気分転換！

Recommendation for a Change of Pace

ボサノヴァがお気に入りです。アストラッド・ジゼルベルトの少々“ヘタうま”な歌声には温かくて力の抜けた清涼感があり、特に私にとって未知の言語のポルトガル語で歌われた響きに(語源を類推しなければ)深く癒されます。同じ理由で、デンマークのミキルセンという(北欧版カーペンターズのような)女性歌手も好きです。

3

加藤先生のとある一日

A Day in the Life of a Teacher

6:30	起床、BBCニュースかパッパを聴きながら朝食、出勤準備
9:00	出勤、メールチェック、授業準備、会議等
12:00	昼食
13:00	授業、会議、書類作成等
15:00	次週の授業準備、研究(文献収集・整理、論文執筆等)
19:30	帰宅、夕食、入浴、家事
22:00	次の日の準備、メール返信等
24:00	就寝

4

ワークライフバランス

Work-Life Balance

研究職は深夜まで仕事に追われることも多いですが、海辺にある自宅に帰ったときには、広がる海と空に心を委ねてゆったりと過ごしています。毎年早春に咲く梅の花も活力を充電してくれます。栄養バランスにも気を配るようにしています。ラヴェンダーのエッセンシャルオイルを数滴垂らしたお風呂もリラックスできます。

中高生のみなさんへ

メッセージ

Message for you

世界文学の名作を沢山読んでください。読書は一生楽しめますが、若い時期に名作に触れた感覚は一生のオリジナルな宝物です。同時に、良質な母国語で書かれた文学(日本語であれば漱石や谷崎など)を若いうちに多く読み、言語感覚を磨いてください。外国語を学ぶ際にも、母国語で培った感性が土台となるからです。



妊娠、出産後の 母体を守る

さ さ つ さ と こ
笹津 聡子

医学域 臨床医学系
(産婦人科学)
助教

Background

駿台甲府高等学校卒業 >> 東京女子医科大学医学部医学科卒業 >> 山梨大学産婦人科入局 >> 山梨大学産婦人科助教

研究 内容

Research
Overview

妊娠の終了後に起きてしまう特殊な状態について研究しています。それは胎盤遺残という状態です。通常は赤ちゃんが子宮から出てくると、胎盤が自然に剥がれて排出されますが、3%ほどの人が胎盤が子宮の中に残ってしまい、時に大出血が起きたり、ひどい場合は子宮を摘出しなければならなかったりと大変な思いをしています。流産の後起きてしまうこともあり、早く安全に解決する方法や、妊娠方法による違いはないか、予防するためにはどうしたらよいかを探るため日々研究しています。

1

研究者になったきっかけ

Why I Became a Researcher

日々患者さんを診ている中で、いまだ治療法が確立されていない症状に出会うことがあり、それを集めて原因を究明することで、次に同じ疾患に出会った時に解決することに繋がると思い研究をするようになりました。山梨大学には、自分が所属する診療科はもちろん、他科であっても相談すれば共同で研究に取り組んでもらえる充実した環境があります。研究面でも精神面でも非常に尊敬できる指導者に恵まれていると思います。



外来でのカンファレンスの様子



自宅の薪ストーブ
とても暖かくなります。

2

おすすめの体験！

My Experience Recommendations

山梨大学小児科が開催している親子で学ぶ心肺蘇生講習です。これは山梨県内で年に1、2回開催されているもので、中高生みなさんも参加できるのでぜひ参加してみてください。私もスタッフとして参加させて頂き、とても充実した内容でお勧めしたいと思いました。

Let's Save A Child in Yamanashi
プロジェクト 詳細はこちら→



facebook



飼っている羊の「メイ」と
ニワトリの「ピヨ」と「たけちゃん」

3

笹津先生のとある一日

A Day in the Life of a Teacher

4:00	起床、論文などを書く
5:00	子供起床、子供の朝食・支度、自分の身支度
6:30	出発
7:15	大学着 医局でメールの返信などの作業
8:00	診療業務開始 手術、外来診療、分娩介助、カンファレンスなど
17:45	業務終了
18:30	帰宅
19:30	夕食、家族と遊ぶ
21:00	入浴、片付け、洗濯
22:30	就寝

4

ワークライフバランス

Work-Life Balance

ワークライフバランスというよりも、私はワークアズライフという仕事が生産の一部であり仕事を通して生きていくという考え方が好きです。医師というのはいつでも出会った人の役に立てよう準備をしなければならないと思っています。自分の専門分野を深めると同時に、地域に貢献できるように日々多方面の努力をしていきたいです。

中高生みなさんへ メッセージ

Message for you

忙しい日々を送っていることと思います。私も中学生時代は吹奏楽部で毎日朝と夕練、土日、長期休暇をすべて練習、遠征に費やし、高校時代は一転して勉強を頑張りました。大学時代は本当に友達に支えられました。今でも中学、高校、大学の友人とは交流しており、当時よりも親しい人もいます。仲間を大切に共に歩いて下さい。

マシンビジョンの高速化と 多機能化を目指す

は ら だ ゆ う き

原田 裕生

工学域 機械工学系
(メカトロニクス工学)
助教

Background

同志社大学生命医科学部医情報学科卒業 >> 同志社大学大学院生命医科学研究科医工学・医情報学専攻博士前期課程修了 >> 日産自動車株式会社電子技術・システム開発本部 >> 同志社大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻博士後期課程修了 >> 日本学術振興会特別研究員PD >> 現職



原田先生(中央)と研究室のメンバー

研究 内容

Research
Overview

超音波を利用した光制御デバイスと圧電材料の成膜技術に関する研究を行っています。現在、マシンビジョン（機械の視覚システム）や小型電子機器に搭載されるカメラモジュールでは、アクチュエータやギア機構などの機械的可動部でレンズ位置を制御することにより、光学的な焦点調整を行っています。しかし、この従来型的手法では、将来的な光制御デバイスの高速化と多機能化には限界があり、更なる技術革新が求められています。そこで現在、機械的可動部を必要としない光制御デバイスとして、超音波方式的可変焦点レンズの開発に取り組んでいます。

1

研究者になったきっかけ

Why I Became a Researcher

父親も研究者で、その背中を見て育ったため、幼少期から研究者に憧れがあったように思います。大学3年生までは剣道中心の生活でしたが、大学4年生で卒業研究に取り組むようになってからは、研究の魅力に引き込まれました。試行錯誤を重ねながら研究を立案し、それを実証できたときの達成感や予想外の新現象に出会えたときの喜びは格別で、何物にも代えがたい研究の魅力だと思います。



昔からペンギンが好きです。ファーストペンギンの精神で頑張っています。



海外で多種多様なビールを飲み比べるのが楽しみです。



幼少期に剣道を始めました。今でも家の近くの道場で稽古をしています。

3

原田先生のとある一日

A Day in the Life of a Teacher

- | | |
|-------|-----------------------|
| 6:30 | 起床、家事、軽い運動、出勤準備 |
| 8:30 | 出勤→仕事（打ち合わせ、実験、研究室ゼミ） |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:00 | 仕事（講義、実験、会議など） |
| 19:00 | 退勤 |
| 19:30 | 帰宅、夕食、家事 |
| 22:00 | 家族団らん、趣味 |
| 23:30 | 就寝 |

2

おすすめの経験！

My Experience Recommendations

様々な国を訪れ、その国の歴史や文化、芸術に触れる経験は自身の価値観を広げる上で重要だと思います。実際に私は研究者として海外に赴く機会も多く、現地の友人との対話から新たな気づきや刺激を得ています。またそうした交流では自国の歴史や文化について聞かれることも多いため、事前に学んでおくとも良いかもしれません。

4

ワークライフバランス

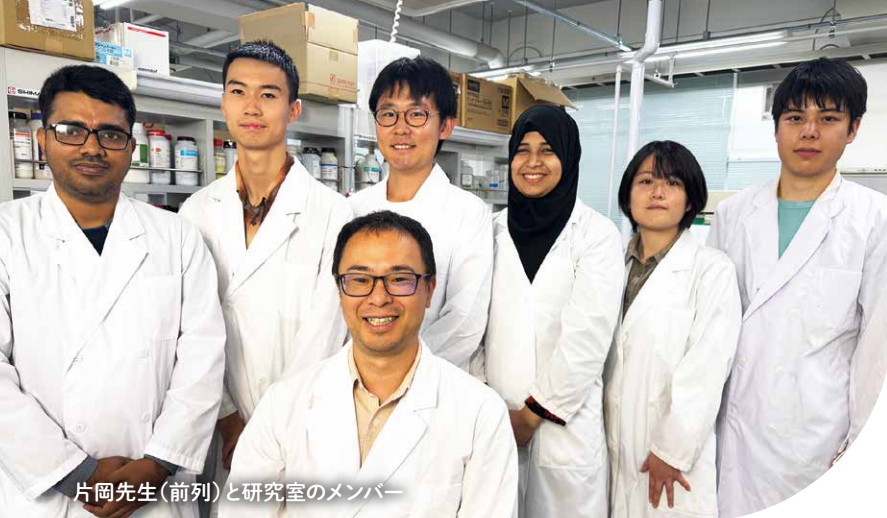
Work-Life Balance

私の場合、研究が趣味に近いこともあり、従来のワークライフバランスとは異なる形で仕事に向き合っています。研究職は一部の仕事を除いて、在宅でも対応可能なため、仕事とプライベートを柔軟に統合できます。深夜まで仕事をする日もありますが、朝や帰宅後の時間で家事を行い、休日には家族との時間を大切にしています。

何か夢中になれるものを探す、また既に出会っている方はそれを大事にしてください。部活でも趣味でも勉強でも何でも構いません。その経験が皆さんの個性となり、実りある人生を歩んでいく上での基盤となると思います。学生時代の多感な時期に、大いに悩み考え、自らの歩むべき道を切り開いていく原動力を養って欲しいです。

中高生のみなさんへ
メッセージ
Message for you





片岡先生(前列)と研究室のメンバー

農業と環境を融合

かた おか りょう た

片岡 良太

生命環境学域 生命農学系
(地域食物科学)

准教授

Background

東京農業大学応用生物科学部生物応用科学科卒業
>> 東京農業大学大学院農学研究科農芸化学専攻修士課程修了 >> 京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻博士課程修了 >> 農業環境技術研究所特別研究員 >> 現職

研究内容

Research
Overview

農業・食料・環境分野における様々な生物現象や環境問題を、生物学的アプローチと化学的アプローチにより解明・解決することを目指しています。室内実験と屋外での調査・研究を互いにフィードバックさせることで、より自然の実態に迫ることを目指しています。「農業と環境」をキーワードに、植物と微生物を用いた残留農薬の制御や植物内生菌による植物の生育促進と環境ストレス耐性、食品残渣(捨てられた食品)を利用したキノコ栽培、プラスチック分解菌の探索など、様々な研究を行っています。

1

研究者になったきっかけ

Why I Became a Researcher

祖父母が田畑で農作物を育てていたので、幼い頃から農業に親しみがありました。高校生の頃から環境問題に興味を持つようになり、大学では食品廃棄物を肥料としてリサイクルする研究を行っていた土壌学研究室に所属しました。そして当時、研究室の助教だった横田先生(現教授)との出会いが、研究者への道を開きました。横田先生とはほぼ毎日、研究内容や夢のある研究について語り合いました。あの頃の積み重ねがあり、今の私があります。



食品残渣で栽培しているキノコ



杏

小粒

愛犬「杏」と「小粒」こつぶ

2

おすすめの本!

My Book Recommendation

中谷美紀さんの「インド旅行記」は、何年も前になりますが、面白かった記憶があります。この本を読んだ後、1人でインドを旅しました。当時、デリーからアグラでタージマハルを見て、バナシまで夜行列車で行きました。その後、オーランガバードの近郊にあるアジャンタ石窟を見て、ムンバイ経由で帰国したのを思い出します。



愛する子供たち 清里にて

3

片岡先生のとある一日

A Day in the Life of a Teacher

5:00	起床・朝食・支度
7:00	出勤・メールチェック・実験室の確認
9:00	講義、会議、論文執筆、学生との打合せ等
12:00	昼食(お弁当持参か学食か)
13:00	講義、会議、論文執筆、学生との打合せ等
17:20	帰宅
18:30	夕食、家事、子供と遊ぶ
21:30	子供を寝かす
22:00	就寝

4

ワークライフバランス

Work-Life Balance

平日は18時頃には帰宅し、家族と過ごすようにしています。仕事が入らなければ週末も、家族と過ごすようにしています。子供たちと一緒に近所の田んぼへザリガニをとりに行ったり、自宅の家庭菜園で子供たちと土いじりをするのは、気分転換になるだけでなく、コミュニケーションを取る良い時間にもなっています。

中高生のみなさんへ メッセージ

Message for you

「なぜ?」という疑問や好奇心、想像力を常に持ち、自然環境で起こる様々な事象とそれらの関連性をぜひ一緒に探りましょう。そうすると理解が進むうちに新たな構想や技術・手法を生み出す面白さが湧いてきます。ぜひ地域食物科学科を受験してください!!お待ちしております!!

妊娠・出産を望む心に寄り添う 生殖補助医療を目指す

ふる さと さ き の

古里 咲綺乃

高度生殖補助技術センター
大学院総合研究部
生命環境学域生命農学系
特任助教

Background

弘前大学農学生命科学部園芸農学科卒業 >> 京野アート
クリニック >> 西船橋こやまワイメンズクリニック >> 現職・
山梨大学大学院博士課程在籍



古里先生(前列)と研究室のメンバー

研究 内容

Research
Overview

胚培養士という仕事をしています。医師の指示のもと、体外に取り出された配偶子（精子や卵子）や胚（受精卵）を取り扱います。具体的には、体の外で受精させたり、育てたり、配偶子や胚の凍結保存などを行っています。自然妊娠が困難なカップルにとって希望となる治療ですが、万能の治療ではないため、赤ちゃんを抱くことができないまま治療を終える方もいます。赤ちゃんが元気に生まれる可能性を少しでも高くするために、技術の提供や研究活動などをします。現在は、胚を傷つけずに、出産の可能性が高い胚を選別する研究を行っています。

1

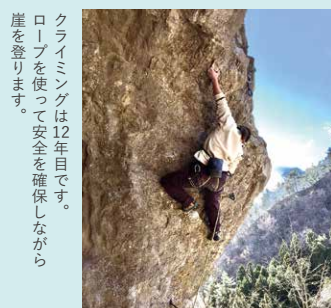
研究者になったきっかけ

Why I Became a Researcher

不妊治療は患者さんにとって心身や時間、経済面で大きな負担となります。胚培養士として働くなかで、うまく受精できない精子・卵子や成長が止まってしまう胚がたくさんあることを実感しました。また、患者さんの切実な気持ちに触れて、「赤ちゃんを望むすべての人が元氣な赤ちゃんを授かりハッピーになってほしい」と強く思いました。そして、今の生殖補助医療をより良くするための研究や技術開発に取り組みたいと思ったのがきっかけです。



冬はスノーボードをしています。
スノーボード後の温泉は最高です。



クライミングは12年目です。
ロープを使って安全を確保しながら
崖を登ります。



大学生のときに登山にハマりました。乗鞍岳山頂付近からの眺望。

2

おすすめの山！

My Mountain Recommendation

登山に興味はあるけれどハードルが高いと感じている方には、乗鞍岳がおすすめです。バスで標高2,702mまで上がることができ、バス停を降りてすぐに湿原が広がり夏はお花畑を楽しむことができます。1時間半ほど頑張れば、標高3,026mの山頂に到達できます。山頂では、北アルプスを一望できる絶景が待っています。

3

古里先生のとある一日

A Day in the Life of a Teacher

6:00	起床、朝ごはん、身支度
8:00	大学 / 医学部附属病院 出勤
9:00	大学：講義、会議、研究 / 附属病院：胚培養業務
12:00	お昼ご飯
13:00	大学：講義、会議、研究 / 附属病院：胚培養業務、研究
18:00	講義の準備、研究等
21:00	帰宅
21:30	夕食
23:00	就寝

4

ワークライフバランス

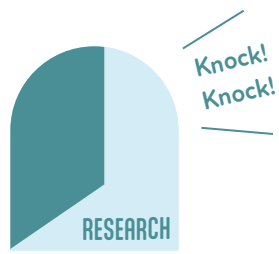
Work-Life Balance

現在は働きながら大学院に通っているのですが休みは少ないですが、休日は友人と登山やロッククライミング、スノーボード、スキューバダイビングなどを行っています。仕事も勉強もあり忙しく感じますが、月に2〜3日は自然の中で過ごす時間を作り、リフレッシュしています。

中高生のみなさんへ
メッセージ
Message for you

動物が好きで農学部に進み畜産を学ぶ中、家畜の繁殖技術が医療に応用され胚培養士という職業があることを大学で知りました。当時その講義を受講していなかったら全く違う人生を歩んでいたと思います。みなさんも興味や出会いを大切に、自分の未来を切り拓いてください。





学生紹介



中川 のどか



四方 美穂



山田 真希



渡邊 琴弓



創作活動を中心とした 子どもの自己表現の 可能性を拡げる

なか がわ

中川 のどか

大学院教育学研究科

教職大学院の課程 教育実践創成専攻

教科領域実践開発コース 修士課程1年

Background

札幌光星高等学校卒業 >> 都留文科大学教養学部学校教育
育学科卒業 >> 山梨大学大学院教育実践創成専攻在籍



研究 内容

Research
Overview

小学校音楽科における創作活動を通して、児童の読譜力向上を図る指導の工夫について研究しています。旋律作りやリズム創作などの表現活動を、楽譜の読み取りと結びつけることで、音符や記号の機械的な暗記にとどまらず、理解に基づく読譜力を育成することを目的としています。小学校において音楽リテラシーを高めることは、児童が主体的に表現し、仲間と協働して音楽をつくる達成感や自己表現の喜びを得ることにつながります。さらに、生涯にわたり音楽文化を味わい、享受する点でも重要だと考え、授業実践を重ねながら研究を進めています。

1

山梨大学を選んだ 理由とその魅力

Reasons for choosing and its appeal

地元北海道を離れ、全国各地の学生と交流を深めたいと考え、都留文科大学に進学・卒業しました。さらに学びを深めるため、山梨大学教職大学院の実践的なカリキュラム、特に年間200時間の現場実習を通じて研究と実践を往還できる点に魅力を感じ、進学を決意しました。現在は、先生方の手厚い指導のもと、ストレートマスター（4年制の学部を卒業し、そのまま大学院に進んだ学生）と現職教員が共に学び合う環境で、日々研鑽を積んでいます。



積丹（シャコタン）のうどん！！
旬の時期は6月から9月です！

USJに行きました。暑かった〜！



2

おすすめのスポット！

My Place Recommendation

海に近い場所で育ったせいか、定期的に海を見に行きたくなります。波の音に耳を傾け、広い海を眺めていると、気持ちが前向きになりリフレッシュできます。さらに、漁港で食べる海鮮丼も最高で、海を訪れる楽しみの一つです。北海道の海を見に行くなら、透き通った青い海と美味しい海の幸を楽しめる、積丹半島がおすすめです！



甲斐市のアマチュア吹奏楽団に所属しています。ワイナリーで演奏しました。

3

中川さんのとある一日

A Day in the Life of a Student

8:00	起床、身支度
9:00	授業
12:10	昼食
13:10	研究（休憩時間もしっかり確保！）
19:00	楽団の練習に参加（大切な趣味の時間！）
22:00	帰宅
22:30	少し遅い夕食
23:30	家事、お風呂
25:00	就寝

4

ワークライフバランス

Work-Life Balance

研究とプライベートを両立するために、メリハリを大切にしています。研究中は集中して取り組み、休憩や趣味の時間はしっかり確保することで、効率と心身のバランスを保てると感じています。特に、ピアノを弾いたりフルートを吹いたりすると、頭がすっきりし、次の行動に前向きに取り組めます。

中高生のみなさんへ
メッセージ
Message for you

学校生活は挑戦や出会いの連続です。うまくいかないことも、大切な経験の一部です。教職大学院で学ぶ今、たくさんの人と関わることで得た知識や経験が、自分を支える大きな力になっていると実感します。努力や失敗も必ず将来の糧になります。学びも遊びも一つ一つを楽しみながら自分らしい未来を築いてください！



四方 美穂

大学院医工農学総合教育部（4年博士課程）

医学専攻 博士課程2年／

医学域 臨床医学系（腎臓内科学）

臨床助教

Background

甲府南高等学校卒業 >> 山梨大学医学部医学科卒業 >> 山梨大学大学院医工農学総合教育部（4年博士課程）医学専攻在籍

四方さん(前列中央)と研究室のメンバー

研究内容

Research Overview

透析患者の生命予後に関する、身体機能や動脈硬化の関係性について研究しています。腎臓の働きが著しく低下すると、体にたまった余分な水分や老廃物を取り除くために透析という治療が必要になります。透析患者は血管が硬くなりやすく、心臓や脳の病気のリスクが高いことが知られています。また、歩行速度や立ち上がり動作などの身体機能が低下すると、転倒や寝たきり、死亡リスクが高まることが分かっています。私たちはこれらの要素を評価し、早期介入によって健康寿命を延ばす方法を研究しています。

1

山梨大学を選んだ理由とその魅力

Reasons for choosing and its appeal

生まれ育った山梨県、そして母校である山梨大学が大好きで、この地で地域医療に貢献したいという思いから、山梨大学大学院への進学を決めました。2010年度の調査では、山梨県は塩分摂取量が男女とも全国1位、糖尿病性腎症による透析患者数も全国1位という結果でした。山梨大学腎臓内科は、やまなし減塩プロジェクトや独自の慢性腎臓病に対する病診連携を通じて健康寿命の延伸に取り組んでおり、その姿勢に大きな魅力を感じています。

2

おすすめの気分転換！

Recommendation for a Change of Pace

おすすめの気分転換は旅行です。普段と違う景色や空気に触れることで、心もリフレッシュできます。今はなかなか遠くへは行けませんが、子供との散歩でも少し知らない場所を歩くだけで新しい発見があり、気持ちが前向きになります。日常を少し離れる時間が、自分を見つめ直すきっかけにもなっています。



動脈硬化の評価をしています。常に丁寧な対応を心がけています。



たまに開催する自家製パン作り。見た目は改善の余地ありますが味はよし。



家族で行った沖縄旅行。海や水族館に行き、最高の気分転換になりました。

3

四方さんのとある一日

A Day in the Life of a Student

6:00	起床、朝食、自身と子供計5人の支度
7:50	出発、子供を送り、出勤
8:30	勤務開始(臨床業務+臨床研究)
12:30	昼食
15:30	勤務終了、お迎え、習い事の送迎
17:30	帰宅
18:30	夕食、片付け、お風呂
20:00	翌日の支度、絵本タイム
21:00	子供の寝かしつけ
21:30	後片付け、残りの家事、可能なら少し勉強
23:00	就寝

4

ワークライフバランス

Work-Life Balance

腎臓内科医として外来・透析・病棟業務を行いながら、臨床研究にも日々取り組んでいます。勤務時間外は4人の子どもの子育てに奮闘中で、仕事と家庭のスイッチをうまく切り替えながら、どちらも全力で楽しんでいます。忙しい毎日ですが、学びや喜びも多く、充実したワークライフバランスを実感しています。



中高生のみなさんへメッセージ

Message for you

学生生活はあっという間です。勉強も遊びも全力で楽しみ、毎日を大切にしてください。その中で興味のあることを見つけて将来につなげられたら素晴らしいと思います。大変なこともあるけれど、努力すればきっと乗り越えられるので、周りに相談しながら前向きにがんばってください。

災害救助の手助けとなる ロボット開発

やま だ ま き

山田 真希

大学院医工農学総合教育部
工学専攻 メカトロニクス工学コース
修士課程 1年

Background

名城大学附属高等学校卒業 >> 山梨大学工学部メカ
トロニクス工学科卒業 >> 山梨大学大学院医工農学
総合教育部工学専攻在籍



研究 内容

Research
Overview

災害時に崩壊した建物の内部の探索や物資の運搬を行うことができるロボットの開発を行っています。災害発生時には、建物の崩壊や有毒物質の発生など、人間が立ち入ると二次災害のリスクが非常に高くなります。そこで人間の代わりに、ロボットが探索や取り残された人への物資の運搬を行うことで、人の命を守り安全な災害救助の手助けを行うことが期待されます。この研究では、ロボットの設計から製作まで全て行い、災害の多い日本で役に立つロボットを開発できたと考えています。

1

山梨大学を選んだ 理由とその魅力

Reasons for choosing and its appeal

幼い頃からものづくりが好きで、将来はものづくりに携わりたいと思っていました。しかし、高校生までは専門的な部分に触れる機会がなかったので専門を1つに絞ることができず悩んでいました。そんな時に機械・電気・情報を幅広く学ぶことができるメカトロニクスという分野に出会い、幅広い分野を学んだうえで自分の専門に進むことができる山梨大学を選びました。



甲府にあるお気に入りの
かき氷屋さんです。



サークルではドラムを叩いています。



友達と香港旅行に行きました。

2

私のおすすめ！

My Recommendation

日常での気分転換に音楽を聴くことがおすすめです。他のことをしながらでも楽しむことができ、気分を上げたいときは激しい曲を、落ちついた気分の時はしっとりした曲など気分に合わせてよく音楽を聴いています。たまには、ライブやフェスに行ってお好きな音楽を身体で体感することも、とてもおすすめです。

3

山田さんのとある一日

A Day in the Life of a Student

8:00	起床・支度
9:00	授業
12:00	昼食
13:00	授業
16:30	研究
18:30	サークルでバンド練習
20:30	夕食
22:00	自由時間 (YouTube や TV ドラマ視聴)
24:30	就寝

4

ワークライフバランス

Work-Life Balance

平日にしっかり研究し、休日はしっかり休むというメリハリをつけることに気を付けています。1週間の目標とタスクを明確にすることで、研究や授業課題は平日中に終わらせるようにスケジュールを立てています。休日は趣味や友人との時間を楽しむことで、しっかりリフレッシュできています。

大学では、勉強以外にもアルバイトやサークル活動など様々な経験ができる機会がたくさんあります。恐れることなく何事も挑戦してみると、新たな発見やかけがえのない経験ができると思います。自分の好きなこと・やりたいことに全力を注ぐことができる日々を大切にしてください。

中高生のみなさんへ
メッセージ
Message for you





渡邊さん(左)と研究室の先生

新エネルギー技術の 開発と発展を目指す

わた なべ こと み

渡邊 琴弓

生命環境学部

環境科学科 4年

Background

横浜翠嵐高等学校卒業 >> 山梨大学生命環境学部
環境科学科在籍

研究 内容

Research
Overview

海と川の水を混ぜて電気を作るという、新エネルギー技術（塩分濃度差発電）の研究をしています。海洋国である日本にとって有利な発電技術であるにも関わらず、実用化された例はまだありません。そこで学部2年生の2月より、この技術を日本に導入した場合の発電容量と経済的コストを解析してきました。これまでにパリやシンガポールの国際会議で研究成果を発表したり、筆頭著者として学術誌に論文を掲載する機会にも恵まれました。今後もこの発電技術を軸として研究を継続し、エネルギー業界の発展に貢献できるよう努力したいです。

1

山梨大学を選んだ 理由とその魅力

Reasons for choosing and its appeal

山梨大学の環境科学科を選んだ理由は、先端技術と人間社会との懸け橋になりたいと思ったからです。環境科学は技術と社会のトレードオフを解決するための学問だと知り、この学科こそがその夢を叶える最良の道だと感じました。入学して気づいたのは、この学科の先生方が驚くほど魅力的で、自分から話しかけたいくなる素敵な先生ばかりだということです。先生方との会話や交流は、私の大学生活の大きな楽しみの一つとなっています。



かわいいネイルをすると、パソコン作業がはかどります！



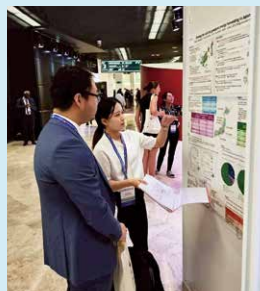
サイクルの同期と宇都宮を満喫しました。

2

おすすめのスポット！

My Place Recommendation

笛吹フルーツ公園にあるカフェ「山歩2nd」が私のおすすめスポットです。富士山を見ながら甲府盆地を見下ろせる絶景と、おしゃれな店内、そして、リラックスできるテラスが魅力です。山梨大学から車で30分のところがあるので、行き帰りでドライブも楽しめます。すぐ近くの「ほったらかし温泉」では夜景も楽しめるそうです。



学部4年生の6月にパリで開催された国際学会でポスター発表をしました。

3

渡邊さんのとある一日

A Day in the Life of a Student

7:00	起床、朝食、支度
8:30	通学→研究 (データ解析、文献調査)
10:30	研究室ミーティング
12:00	昼食・休憩 (お昼寝するときも…)
13:00	アルバイト (大学内で実験補助)
16:00	学会発表の準備 (スライド作成、質疑対策)
18:00	帰宅
19:00	夕食・のんびり、お風呂 (スマホチェック、家族と電話 etc.)
22:00	ストレッチ・家事 (好きなアニメを観ながら)
23:00	就寝

4

ワークライフバランス

Work-Life Balance

楽しく研究をするための工夫として、テンションのあがる身なりを心がけています。まつ毛パーマやネイル、お気に入りの洋服で身を包み、毎日研究室に向かいます。デスク周りには、可愛いものをたくさん置いて、疲れた時に癒されています。そして月に数回、友達を銭湯に誘い、サウナで汗を沢山かいてリフレッシュしています。

中高生のみなさんへ メッセージ

Message for you

「勉強をすると、自分が見ている世界の解像度が上がる」というフレーズが心に残っています。対象はたった一つでも、そこには複数の捉え方があり、しかもそれらが互いに関連している…そんな状況を目にした時、私は「学ぶってこんなに楽しいものなんだ！」と驚きました。大学にはそんな驚きがたくさん転がっていますよ！

男女共同参画推進室

主な取り組みの紹介

ホームページ随時更新中。当室ホームページでは、各種コンテンツを掲載しています！

<https://danjo.yamanashi.ac.jp/>



両立可能な環境の整備

キャリアアシスタント制度

ライフイベント中の研究者へキャリアアシスタント（通称CA）と称する、実験や論文検索などの研究活動を補助するサポーターを派遣。

産休・育休からの復帰支援制度

産後の特別休暇、および育児休暇から職場復帰した研究者に対し、研究助成金を支援。（男性の研究者は2ヵ月以上の育児休暇を取得した者に限る）

女性研究者のための論文投稿費と 英文校閲費支援制度

女性研究者の論文作成に伴う経済的負担を支援。

「社会福祉法人宮前福祉会 宮前こども園」と連携した育児支援

宮前こども園の一時預かり保育と連携し、学内の育児支援を実施。山梨大学の教職員・学生（附属学校園に勤務する教職員・医学部学生を除く）は特別料金を利用可能。

企業主導型保育施設との協定締結による育児支援

育児支援の一環として、企業主導型保育施設「株式会社創街（共同保育所みかげの森）」および「株式会社アソビスイッチ（アソビスイッチ保育園）」の共同利用に関する協定を締結し、提携企業枠で利用可能。

次世代研究者の育成

山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞

女性研究者を顕彰することによりその研究意欲を高め、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画の促進等に資することを目的とする顕彰制度。

キャリアアシスタント制度を通じた 研究職希望者の育成

「両立可能な環境の整備」でも紹介したキャリアアシスタントは、研究者の仕事の間近で見られるうえ、将来のライフイベント時における仕事の在り方を具体的にイメージすることができる。研究職を志す学生におすす。

Coの花フェローシップ

将来を担う創造性に富んだ女性研究者の育成に向け、研究に専念できる環境の提供とキャリアパスの確保を支援。大学院博士課程に在籍する優秀な女子学生に対し、研究専念支援金及び研究費を支給。

学内連携の強化

学内の人的ネットワークの強化による環境整備

学内に設置されている様々な支援室やセンター、委員会等とのネットワークを強化し、山梨大学が「誰もが働きやすく、学びやすい環境」であり続けるための提案や取り組みを実施。

意識改革&スキルアップのためのセミナー・講演会

学内の意識改革や教職員・学生のスキルアップのために、各種セミナーや講演会を実施。

交流の場と情報の提供

交流室の設置

誰もが気軽に利用できる交流室を設置。研究者・職員・学生同士の情報交換や交流、ライフイベントに関する情報の収集と交換の場として利用可能。

令和6年度から、体調がすぐれない等の理由での一時的に休養が必要な方のために交流室の一角に女性専用休憩スペースを設置。



働く女性のリスキングと キャリアアップセミナー

企業や公共機関等で働く女性を対象に、キャリアアップを目指す仲間と共に学び、講師との交流を通し、皆で女性が活躍できる土壌を作ることを目指すプログラムを実施。

- ◆キャリアデザイン講座
- ◆アサーティブコミュニケーション講座
- ◆ココロとカラダの講座
- ◆働きやすい環境、ハラスメントを考える講座
- ◆ウェルビーイング講座
- ◆ワークショップ・インタビュー・成果発表会

女子中高生の理系進路選択 支援プログラム

山梨県内の女子中高生を主な対象として、理系分野に対する興味、関心を喚起し、理系分野へ進むことを支援するため、様々なイベントを実施。

- ◆夏休み理工系体験イベント
- ◆ガールズサイエンス cafe、オンラインお茶会

ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ(牽引型)

(令和2～7年度)

文部科学省の科学技術人材育成費補助事業である「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」において、シミックホールディングス株式会社と株式会社はくばくとともに様々な研究者支援の取り組みを実施。

- ◆ダイバーシティ研究環境整備のための取り組み
- ◆女性研究者の研究力向上のための取り組みとそれを通じたリーダー育成のための取り組み
- ◆女性研究者の上位職への積極登用にに向けた取り組み
- ◆地域社会への波及とイノベーション

本学は、国立大学法人化の平成16年度（2004年度）に「山梨大学男女共同参画の提言」を策定、平成27年には男女共同参画の加速を大学運営の緊急かつ重要な課題と位置づけ「男女共同参画加速のための山梨大学学長行動宣言」を公表し、本学に集う全ての構成員が、その個性と能力を十分に発揮できる大学とするよう努めて参りました。

第4期中期目標中期計画期間においては、これまで本学が行ってきた男女共同参画をさらに前進させるべく、性別、性的指向、性自認に関わりなく、知の集積拠点として、持続的に新たな価値を創出し、発展し続けるため、以下の項目について積極的に推進することを宣言します。

基本方針

1. 男女共同参画推進体制のさらなる確立
2. 女性研究者の採用拡大と育成の促進及び研究活動の支援
3. 大学運営への女性参画の推進
4. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
5. ダイバーシティ推進に関する教育・啓発活動と学内外の協力・連携

行動計画

1. 学長のリーダーシップをより発揮し、男女を問わず全ての教職員が働きやすい職場環境づくりを進める。
2. 女性研究者を積極的に採用し、女性教員比率を22%に引き上げるとともに、意思決定過程への女性の参画を推進するため、女性教授比率を13%、事務系女性管理職比率を10%に引き上げる。
3. ライフイベント中の研究者に対して積極的な研究支援を引き続き行う。
4. 育児・介護・特別休暇などの各種支援制度を整備することにより、教育・研究環境及び就業環境の整備を行う。
5. 地域社会と連携して、全構成員にダイバーシティを重視する意識を醸成し、性別、性的指向、国籍、年齢や障がい等に関わらず、多様な構成員が個性を尊重され、自由で対等に活躍できる学修、研究、就業環境の実現を図る。

令和5年4月

国立大学法人山梨大学
学長 中村和彦

このパンフレットを読んだ感想をお聞かせください

アンケートはこちらから ▶

<https://forms.office.com/r/n6HXiTiq3T>



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
YAMANASHI NETWORK
FOR DIVERSITY & INNOVATION

ナシダイ Researchers Vol.13 2026年2月発行

国立大学法人山梨大学男女共同参画推進室 〒400-8510 甲府市武田 4-4-37 Tel.055-220-8350 Fax.055-220-8351
E-mail: danjo@yamanashi.ac.jp URL: <https://danjo.yamanashi.ac.jp>
印刷：株式会社オズブリンティング 協力：山梨大学